

	<p>健康な体 誠実な心 豊かな知性</p>	<p>しのめ 東雲</p>	<p>尾張旭市立東中学校 学校だより 令和3年度 第3号</p>
--	--------------------------------	--------------------------	--

「宣言」の延長。新規感染者の人数が減っても油断は禁物。手洗いとマスク、距離の保持を確実に。

礼儀正しさこそ最強の生存戦略

校長

「〇〇先生、今少しよろしいでしょうか」「(相手の目を見て)ありがとうございます」「(相手の目を見て)おはようございます」「昨日は(対応していただき)ありがとうございました」。東中学校で、もはや当たり前になってきている礼儀正しい言葉や振る舞い。そうした礼儀正しい言葉や姿にふれる度に、礼儀正しさはやっぱり大事なことだなと思います。



「Think CIVILITY『礼儀正しさ』こそ最強の生存戦略である」(東洋経済新報社)という本があります。ビジネス書ですので、書かれていることは中学生を対象とした内容ではありませんが、中学生に置き換えて紹介します。

礼儀正しさのメリットとして、普段から礼儀正しくしていることで、周囲から声がかかりやすくなること。その結果として努力の成果や能力を発揮する機会が増えること。いろいろな人からアドバイスや情報などを得やすくなることなどがあげられています。さらに、礼節をわきまえていることから「リーダーにふさわしい」ともされるようです。そして、礼節ある人が守る「3つの原則」が示されています。それは「笑顔を絶やさない」「相手を尊重する」「人の話に耳を傾ける」の3つです。この3つの原則は、中学生の皆もできること。もうすでに実行できている人もいると思いますが、言葉の礼儀正しさにとどまらず、相手の気持ちを考えた行動、最後まで人の話をしっかり聞くこと、そして「笑顔」を意識してみてください。きっと「礼儀」に磨きがかかり、あなたの周りに変化が起きてきます。

牛乳残少なし 新記録

給食に出される牛乳。昨年度、ビンから紙パックに変わり、残る本数が少なくなりましたが、全校での残は、100本ではきかない日が続いていました。冬場、多い日は150本も。今は昔とちがって、無理に飲ませることはしていないため、「きれい」「苦手」と飲まない生徒が、残念ながら多くなっています。

ですが、この4月から残る本数に変化がみられました。5月20日、牛乳の片付けを担当するひとりの先生が「新記録、1箱と18本」と教えてくれました。本数でいうと42本。25日は33本とさらに減りました。残の本数が多いクラスの当番の子に声をかけ、当番の子がクラスでよびかけてくれたんだと思います。誰かがたくさん飲むんじゃなくて、飲めるけど飲まない子が変わって下さいね。



残念な話



先日の夕刻、残念な話(苦情)が聞こえてきました。朝の登校時、住宅地の道路に5~6名の生徒が広がって歩き、車の通行の妨げになっている、といった内容です。学校まで電話をされるということは、よほどのことと思いました。

一日の始まりの出勤時、目の前に中学生が広がって歩いている。車で近づく・・・すっと道をあけてペコッと会釈する中学生・・・きっと車の人も「ありがとね」の合図・・・気持ちのよいやりとりに互いがいい一日になります。逆は、近づいても避けてくれない・・・気づかない?・・・しかたなく「クラクション」・・・中学生の怪訝そうな顔・・・なんでそんな顔される?・・・気分悪し!・・・となること至極当然。集団、複数人で登下校する時ほど周りに気づかいは。朝の出勤、通学時、互いに一日のいいスタートができるよう気遣いを。できるはず。

旭丘方面の残念な登校状況、その後は苦情がないので、改めてくれたんだなあと思っています。